

チ・Ga シンチともに腫瘍集積性の低い原発性骨腫瘍であると判断された。

## 22. DPA 法による骨塩定量——SPA との相関について——

後藤 英介 森 豊 川上 憲司  
(慈恵医大・放)

従来, DPA 法, SPA 法, インピーダンス法により骨塩定量および身体構成成分の計測が行われている。今回これらの測定法について検討を加えたので報告する。

1) 焼却骨を用い DPA 法の骨塩定量の精度をしらべた。2) SPA 法(橈骨)による骨塩が DPA 法において身体どの部分の骨塩を反映しているか検討した。3) FAT Mass, Lean Mass および %FAT の精度について, DPA 法とインピーダンス法で対比した。

焼却骨の実測値と DPA 法による骨塩量は高い相関を示し, DPA 法の精度が高いことが確認された。SPA 法(橈骨)で求められた骨塩は DPA 法による skull の骨塩量と相関が高かった。DPA 法で求めた FAT Mass, Lean Mass および %FAT はインピーダンス値と高い相関があり, DPA 法の精度が確認された。